

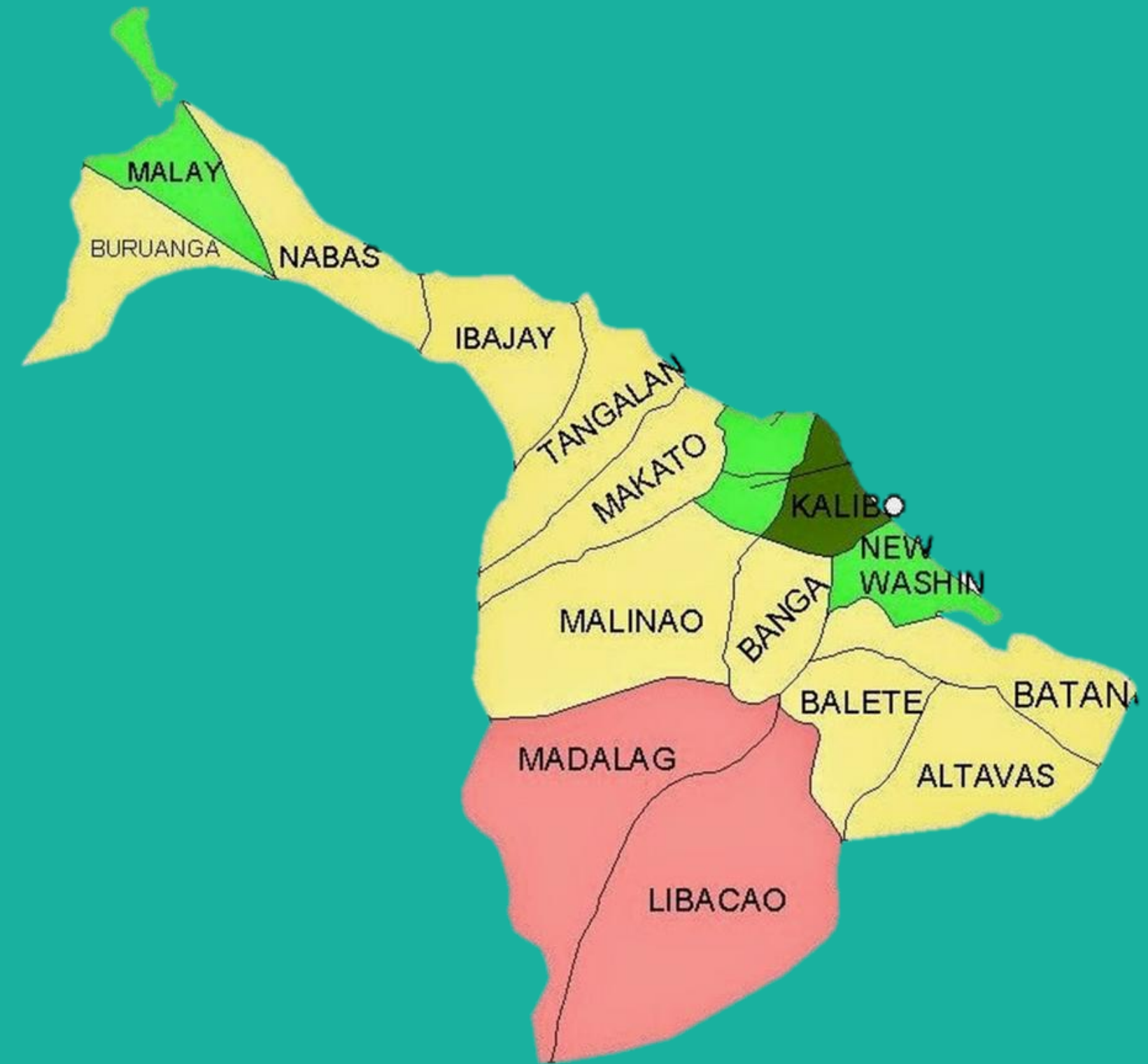
アクリアン州:

持続可能な未来を育む

セルウィン・C・イバレッタ
アクリアン州

ア克兰州

ア克兰州は、自然がもたらした完璧な美しさとその住民によって有名になりました。フィリピンにおける特筆すべきこの地は、観光客を惹きつけるという点で世界地図に明確な足跡を残しています。各自治体は、それぞれのまち独自の観光名所、祭り、さらには美味佳肴や特産品を誇っています。



ALTAVAS

IBAJAY

MADALAG

NEW WASHINGTON

BATAN



MALINAO

BALETE

LIBACAO

MAKATO

NUMANCIA

BURUANGA

KALIBO

NABAS

BANGA

LEZO

MALAY

TANGALAN

持続可能性を 経済戦略の中核として

1. 価値向上と市場競争力の強化(環境・社会・ガバナンス(ESG)基準、国際的魅力)
2. 経済的回復力(自然資本の保護:水、土壌、海洋生物)
3. 包摂的成長(安定した生計、地域社会のエンパワーメント)
4. ボラカイ島向けオンライン決済システム:規制された観光のためのイノベーション



1. 価値向上と市場競争力の強化



3. 包攬的成長



4. ボラカイ島向けオンライン決済システム：規制された観光のためのイノベーション



具体的な行動： 規制と認証に基づく成長

1. サステナブル・ツーリズム：ボラカイ・カティクランモデル(地方自治体管理政策、収容力)
2. 持続可能な食料生産：ア克蘭州農業水産実証農場(農業技術局認定学習サイト)
 - 実習場・助言サービス機能
 - ア克蘭穀物センターを併設(適正価格購入・製粉)



サステナブル・ツーリズム:ボラカイ・カティ克蘭モデル (地方自治体管理政策、収容力)



ア克兰州農業水産実証農場・トレーニングセンター



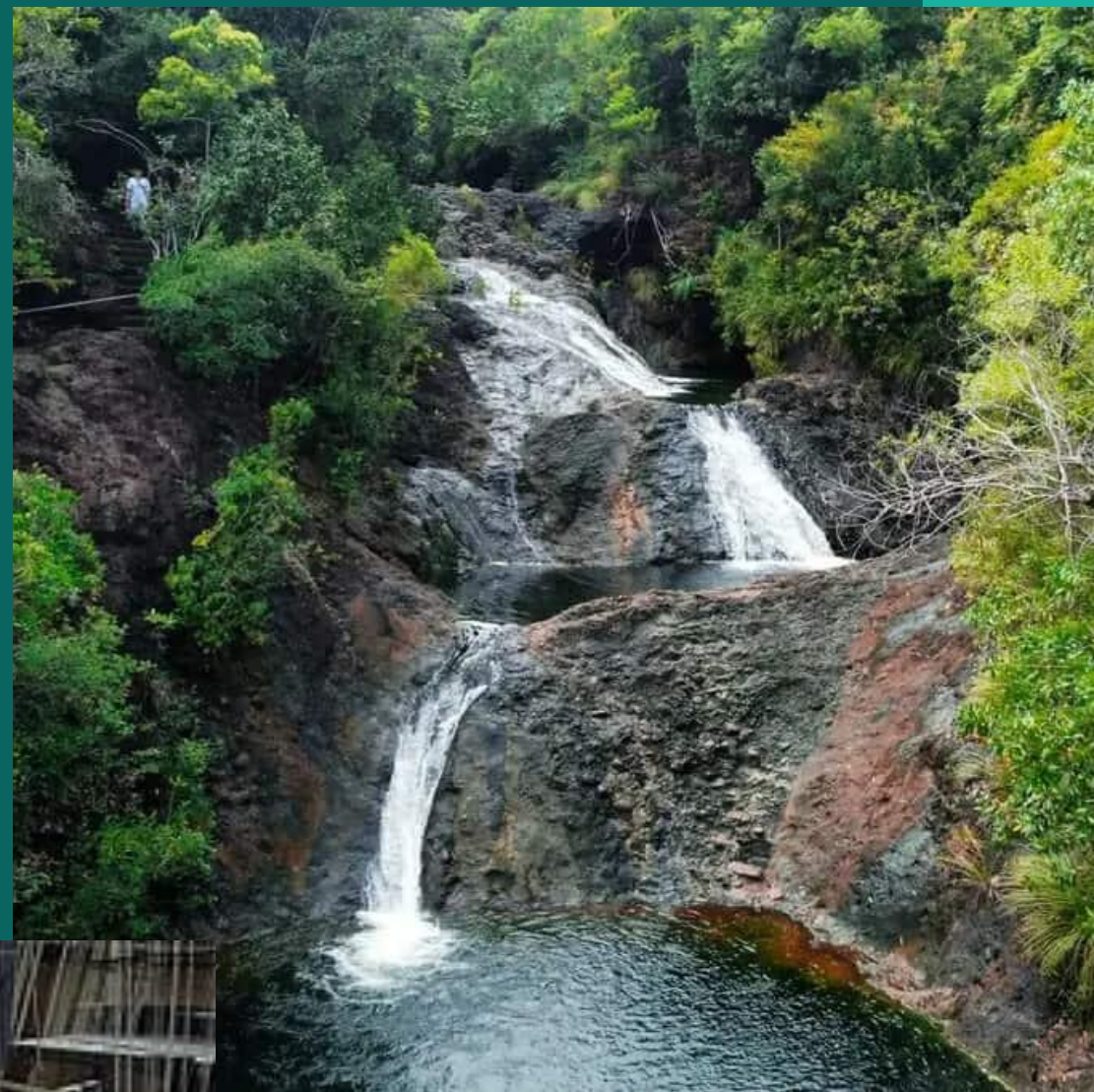
ア克蘭穀物センター



高付加価値の 体験型サービス

戦略:規制された観光と高付加価値の本土開発の
バランス

1. ア克蘭地域観光ルート:観光客による影響の分散化を図り、地域経済の公平性を確保。
2. ピニャ手織りユネスコ遺産:「フィリピン織物の女王」(低負荷・高価値の経済基盤)。



1. アクラン地域観光ルート



2. ピンヤ手織りユネスコ遺産



前進への道筋：投資と革新

I. 主な課題

1. グリーン資本動員(インフラ資金調達)
2. 慣性の克服(短期利益への抵抗)

II. 価値増幅要因(機会)

1. グローバル環境・社会・ガバナンス金融
2. グリーンイノベーション
3. プレミアム市場アクセス

III. 地方自治体の役割：ガバナンスの三本柱

1. 規制の確実性
2. 基盤整備
3. インセンティブとパートナーシップ

共有所有権の促進： ステークホルダーの関与

戦略：州全体規模の取り組み

手法：包括的協議体（民間セクター、市民社会、学術界）

推進要因：経済的現実性を示す

目標：持続可能な選択を最も収益性の高い選択にする



関与とコミットメント： ア克蘭、次の10年に向けて

私たちの戦略：全省を挙げての取り組み

主要目標：持続可能な選択を最も収益性の高い選択にする

ビジョン：東南アジアにおける統合的成長の灯台となる

行程

- 日本
 - 10月30日:羽田行きのフライト(カティックラン経由マニラ→羽田)
 - 10月31日:フォーラム
 - 11月1日:州知事到着
 - 11月2日:山本氏との昼食会(銀座)
 - 11月3日:エクスカーション
 - 11月4日:東京(Cam Globalとの覚書締結)
 - 11月5日:マニラ帰路便(羽田→マニラ)

服装

- 10月31日 – バロン／ポロバロン／スーツ
- 11月1日 – スマートカジュアル／スーツジャケット
- 11月2日 – ポロバロン／スーツ
- 11月3日 – スマートカジュアル／スーツジャケット
- 11月4日 – バロン／ポロバロン／スーツ

行程

- 済州
 - 11月15日: マニラからシンガポール経由で済州へ移動
 - 11月16日: 到着
 - 11月17日: 済州市長との会談
 - 11月18日: 視察
 - 11月19日: 帰国便搭乗

服装

- 11月17日 – バロン／ポロバロン／スーツ
- 11月18日 – スマートカジュアル

記念品

バロン – 州知事のサイズ – 100

ニトのコースター – 20

アクセサリー – 20